



The Y's Men's Club of Kyoto
ZERO
since 2010

2

2013
FEBRUARY

2月10日発行
第3巻 第8号 通巻27号

Bulletin
CHARTERED 2010



◆今月の聖句 旧約聖書 ハバクク書2章2節～3節

幻を書き記せ。走りながらも読めるように板の上にはっきりと記せ。
定められた時のためにもうひとつの幻があるからだ。
それは終わりの時に向かって急ぐ。人を欺くことはない。
たとえ、遅くなっても、待っておれ。それは必ず来る、遅れることはない。

クラブ会長主題：明日も笑顔で ～全てのことが 意味のあること～ クラブ会長：藤井隆

国際会長主題："Be the light of the world" "世を照らす光となろう"

国際会長：Philip Mathai(インド)

アジアエリア会長主題："Years bring wisdom" "歳月はY'sをワイズ(賢者)にする"

アジア会長：Oliver Wu(台湾)

西日本区理事主題："先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で" 西日本区理事：成瀬晃三

京都部部長主題：『出あい』『ふれあい』『磨きあい』京都部部長：船木順司(京都トップス)



「今、改めて思うこと」

石田 有美

入会して、一年が経ち、今改めて思うことを書きたいと思います。

まず、何より一番に感じることは、ZEROクラブメンバーの暖かさです。

普段なかなか知り合うことがない(または、ビジネス上だけのお付き合いに留まってしまう中で)

幅広い年代の方々とも交流することができ、とても有難く思っています。

例えば、たまたま職場等で、クラブのメンバーの人に会うと

とても、ほっとした気持ちになります。

言い方はおかしいかもしれませんが、一気にアウェイからホームにきた気分です。

そのくらい、とてもほっとした気持ちになります。

私にとって、ZEROクラブはそんな場所です。

いつも、暖かく受け入れてくれる場所です。

人生の中で、出会える人の人数は、限られていると思います。

そんな中で、クラブを通して、色々な方と出会えるという事について、とても有難く感じます。

そんな中、「自分には、何ができるのか？」

これについて、未だに明確な答えは出ていませんが、できることからひとつずつ

始めていけたら…と思っています。

1月第一例会「合同新年例会」

平成25年1月10日



新年明けましておめでとうございます。

1月10日(木)閑臥庵(北区烏丸通鞍馬口東入)にてTOBE
ワイズメンズクラブとの合同新年例会がございました。

「閑臥庵」は山号を瑞芝山という黄檗宗の禅寺です。もとは、
梶井常修院の宮の院邸であったが、江戸時代前期に後水尾
法皇が、夢枕に立った父・後陽成天皇の言葉に従って、王城
鎮護のために貴船の奥の院より鎮宅靈符神をこの地に勧請し、
初代隠元禅師から六代目の黄檗山萬福寺管長千呆禅師が
開創となって寺としたのが当寺の起こりです。

私は、北区で生まれ育ち、不動産という地域に根ざした職業で
あるにもかかわらず、初めて「閑臥庵」を知り、金色にライトアップ
された本堂には驚かされました。

閑臥庵では、精進料理「普茶料理」をいただきました。魚、肉を
一切使わないと聞いておりましたので、少し頼りないかと不安に
思っておりましたが、300年以上の伝統がある料理だけにひとつ
ひとつの料理が大変手が込んでいて、皆が口を揃えて「美味
しい!!」と楽しく頂きました。

京都らしい新年会の雰囲気の中で、閑臥庵の日本庭園をバック
に、澤井美智子ワイズによる素晴らしい伝統のある日本舞踊を
披露していただきました。

また、委員会ごとにテーブルに座り、今年の一文字を書き初めを
しました。「魂」や「一」、「昇」など、年末政権が自民党に移り、
株価上昇や円安など、今年の景気が良くなるといった趣旨の
ものが多く、徐々に明るい気分の新年を思わせる字が並び中、
藤井会長の快気を願う、「隆」といった字もありました。

今年一年が皆様にとって良い年となりますように。。

山田 維久仁



「サバエ日陰棚設置プロジェクト」

平成25年1月19日・20日

寂光院にて、今季下期Yサ事業の一つである「サバエ日陰棚
設置プロジェクト」が始動した。

竹園副会長の尽力で、藤棚を組むための材木を寂光院様が
ご提供くださる事になり、裏山の杉、ヒノキを切り出す事となった。
素人の我々では心許ないと竹園副会長がすでに伐採を済ま
せておいてくださったので、この日は木の皮むき作業をする事
となった。

数日前からの雪の影響で残雪が残る裏山にZEROクラブの
精鋭!?部隊が入山、果敢に作業に取り組んだ。

数メートルにも及ぶ大木の皮むきはなかなか大変で、か弱い私?
や高倉書記はクタクタ!!

それでも半日で三本を何とかむき終わった次第。

ちなみにこの日の精鋭部隊は竹園副会長、高倉書記、佐古田



ドライバー委員長に私Yサ委員長とそのメネットの五人。

翌日20日には井上書記、岸田ファンド委員長と竹園副会長と
三人でこの日の作業に挑んでいただいた。

ZEROクラブにはもっと若手がいるはずなのに……。

ともかく無事に作業を終えることができた。

次回材木の搬入や、鯖江での設置の折にはより多くのメンバー
のお力添えを願うばかり!!

素晴らしい藤棚が完成するまで頑張りましょう!!

西村 寛子

1月第二例会「半期総会&TOF例会」

平成24年1月24日

ホテル日航プリンセスにて京都ゼロクラブ第三期半期総会が開催された。

第三期ということで会員皆少しずつ総会にも慣れてきてはいるが、やはりまだまだ理解できていない事も多く、準備の段階から三役の方々に多くのご迷惑をお掛けしている。

三役の方々には、事業報告書作成依頼から資料作成まで本当にご苦勞をお掛けしていることと思う。

こうしたことを順次、皆で学び経験していくことで、それぞれの立場とその苦勞がわかり、個人としてクラブの中で責任が果たせるようになっていくのだと思う。

総会に於いて、事業委員長から各事業委員会の活動状況が報告され改めてわがクラブが何をしてくれているのかが実感できた。

年初の計画通り事業が進められているのか、あるいは目標が達成できているのか等、確認と反省の時となる。

下半期に向けての課題も見え、有意義な総会となった。

新しい活動や試み、ゼロらしく取り組んでいければと思う。

ワイズメンズクラブとしての本来のあり方・やり方をきちんと学びつつ、その上でゼロクラブはゼロクラブらしく在りたいと思われた総会ではあった。

Y'サ委員長 西村 寛子



『YMCAの願い』

YMCAでは、全国各地での事業ならびに運動の指針として「YMCAの願い」を礎として取り組んでいます。

YMCAの願い

YMCAでは活動を通して次のことを学びます。

- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「世界、地域のひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心とからだを育むこと」

YMCAでは、これらを実現するために、「思いやり」「誠実さ」「尊敬心」「責任感」をすべての場面で大切にしています。

東日本大震災以降、新しい生き方が求められています。世界的にも経済、環境ならびに政情の不安定さなどが混沌とした中で、YMCAの願いに基づく生き方が、今まさに必要であると認識しています。

さて、創立記念会員集会では、仙台YMCAを拠点としてのこれまでのYMCA・ワイズメンの働き、そして、これから求められていることについて共有させていただきます。

また、2月には台湾台中YMCA、韓国仁川YMCAにグローバルコミュニティスタディーツアーとしてリーダーが派遣されます。

3月にはYMCAで育まれた卒業リーダーが巣立っていきます。それぞれをいつもお憶えいただきお支え頂いていますことを感謝いたします。

京都YMCA 総主事 神崎清一



HAPPY BIRTHDAY!

2月 6日 小西 一範
 2月 7日 藤井 隆
 2月13日 佐古田 正美



HAPPY ANNIVERSARY!

〈強調月間〉2月 TOF・CS・FF

■ 1月例会出席

第1例会		第2例会	
メンバー	20/25名	メンバー	18/25名
メネット	6名	メネット	0名
コメット	3名	コメット	0名
ゲスト	3名	ゲスト	0名
月間出席者数 22名/25名		月間出席率 92.0%	

■ TOF・CS・FF

TOF	0 pt
CS	0 pt
FF	0 pt

■ ニコニコ

1月	7,000円
累計	33,000円

■ ファンド

1月	0円
累計	319,480円

会長	藤井隆
副会長	竹園憲二 河村栄二
書記	井上晴雄
書記	高倉英理
会計	熊本祐晃